

ストーン・ビューティー 洗浄マニュアル

1. ストーン・ビューティーの用途

- ・ バーナー仕上げの御影石（外壁・外床）
ビル・マンションの1階周りの御影石床
温泉の御影石床
- ・ 磨き面の御影石（外壁・外床）、大理石
- ・ 砂岩やテラゾー

2. 適応する汚れ

- ・ 煤煙などの油、水アカ、カビ、シリコンオイル（シーリング材の油污れ）、
付着した鉄サビ
（樹脂塗料や接着剤、ガムなどの人工付着物は分解できません）

3. ストーン・ビューティーの特徴

ストーン・ビューティーは、雨が直接当たる外壁や外床の石材に付着した煤煙による油污れや水アカ、シリコンオイルなどの汚れを落とす洗剤で、油分解作用を持つ茶葉を主成分とする植物性の酸性洗剤です。

4. 準備物

洗浄を行う現場には、以下の物をご用意下さい。

なお、汚れ分解した後、分解した汚れを洗い流さなくてはならないため、現場に水道水があるかを事前に確認しておいて下さい。

また、高圧洗浄機が電気稼動のタイプである場合は、電源があるかも事前に確認しておいて下さい。

■ 洗浄用具

- ・ ストーン・ビューティー（18Lまたは4L）
- ・ 洗車用スポンジ（市販商品） 人数分
- ・ スコッチブライト等のナイロンタワシ（市販商品） 人数分
- ・ ゴム手袋（市販商品） 人数分
- ・ バケツ（市販商品） 人数分（洗剤用と水用）
- ・ 外壁石材洗浄であれば高圧洗浄機
- ・ 外床石材洗浄であればポリッシャーもしくはデッキブラシ



5. 洗淨の準備

① 保護養生

ストーン・ビューティー（以下、本剤という）は酸性であるため、洗淨する箇所の周囲に下記ものがある場合、直接かかると変色、白濁してしまう可能性がありますので洗淨作業に入る前には養生し、保護して下さい。

■ 全ての窓ガラス

■ アルミサッシ、ステンレスなどの金属

- ・ 窓枠のアルミサッシ、ベランダのアルミ手摺り、排気口など
- ・ ステンレスの看板、ステンレス手摺りなど
- ・ ポスト、名盤・消火栓など

■ 植木や花壇、植栽などの植物

■ 洗淨付近に停めてある自動車

■ 注意：窓ガラスを養生する際は、アルミサッシも一緒に養生して下さい。

② 洗淨および希釈倍率の決定

必ずテスト洗淨を行い、材質に対する本剤の影響（腐食、変色、光沢消失等）を確かめて下さい。

この段階で本剤を原液から3倍程度まで清水で希釈し、適切な希釈倍率を決定して下さい。

【希釈目安】

- ・ バーナー仕上げの御影石（外壁・外床）：原液使用
ビル・マンションの1階周りの御影石床
温泉の御影石床
- ・ 磨き面の御影石（外壁・外床）、大理石：水で2～3倍希釈
- ・ 砂岩やテラゾー：原液使用
- ・ ラスタータイル：原液使用

6. 洗淨の手順

① 準備物を用意し、ゴム手袋を着用する。

準備物はブルーシートの上に設置し、本剤の移し換えは必ずブルーシートの上で行って下さい。



② 本剤を良く振った後、バケツに底から5cmほど入れ、適切な希釈倍率で水を入れて希釈する。

以降、本剤が入っているバケツはブルーシートの上以外には置かないようにして下さい。

③ 本剤を入れたバケツにスポンジを浸し、本剤が滴り落ちない程度までスポンジを絞ります。

- ④ 本剤を含んでいるスポンジで、汚れている石材面を塗り上げます。
汚れがひどい箇所は、数回塗り上げていくと次第に汚れが綺麗になっていきます。
外壁を清掃する場合、塗り上げる際にスポンジから本剤が滴り落ちますので、バケツを壁面に近づけて受けるなどして本剤の飛散を防いでください。
落としきれない場合は、市販のスコッチブライトを使用して擦り上げて下さい。
- ⑤ 汚れが落ちたら、床はポリシャーがけ、外壁は水による50キロ程度の高圧洗浄を行い、分解された汚れを洗い流してください。
尚、本剤は酸性洗剤ですのでポリシャーの金属部分に付着すると酸化・変色の恐れがありますので注意してください。

7. 効果的な洗浄方法

- ① 洗浄作業は建物の上から下に向けて行います。なお、ゴンドラ作業の場合は、逆になる場合もあります。
- ② バーナー仕上げの御影石は吸水性が高いため、事前に水をかけて、水で湿らせておいて下さい。
理由は、水で湿らせずにいきなり本剤を塗ると汚れを分解する前に本剤を吸い込んでしまい、汚れが分解できなくなりますのでご注意ください。
- ③ 壁面が水でかなり濡れている場合は、そこに本剤を塗ると本剤が汚れを分解する前に流れてしまい、多少水で湿っている箇所であれば作業に支障はありません。
特に外床の石材を洗浄する場合は、水が溜まっていると水膜ができて、ムラになって汚れが分解されてしまいますので、多少湿っている場合は問題ありませんが、外床の石材は濡らさずに本剤を直接塗って下さい。さらに、床の傾斜の下側から洗浄作業を行い、徐々に上側に洗浄作業を移行して下さい。
- ④ 水で洗浄できない物件（通行人が多いなど）の場合は、濡れた雑巾で本剤と分解された汚れを拭き上げなくてはなりません。拭き上げの場合、本剤が残らないように十分に拭き上げて下さい。

8. 使用上の注意

- ・ 必ず作業前に保護メガネ・ゴム手袋等の保護用具を着用して下さい。
- ・ 保護養生しなくてはならないものは、必ず保護養生して下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、水または温水で洗い流した後、石けんで十分に洗って下さい。
痛みやかぶれなど異常を感じた場合は、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
目に入った場合は、ただちに大量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
また誤って飲み込んだ場合は、ただちに大量の流水で口をすすぎ、できるだけ早く医師の診下さい。
- ・ 通行人等の第三者への汚水の飛散に注意して下さい。
- ・ 塩素系洗剤等とは併用及び混ぜないで下さい。
- ・ 直射日光を避け、30℃以下の場所で保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外に使用しないで下さい。